

第1号事業

平成28年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-1	
事業名	郷土資料の調査収集・活用			担 当 課	学芸課
				変更内容	成果指標
目 的	1.区民共有の財産である郷土資料を未来に継承するため、新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、整理・整備を行い適切な環境下で保存していく。 2.資料を展示や事業等で活用するため、整理・修復するとともに活用しやすい環境の整備を行う。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	23,039	23,339	△ 300	大科目	事業費
経常収益計	23,039	23,339	△ 300	種別	補助事業
事業費	3,881	4,525	△ 644	事業開始	平成元年度
人件費	19,158	18,814	344	根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例
経常費用計	23,039	23,339	△ 300		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
写真公開増数	50 点	-	-	写真公開デジタルアーカイブで閲覧できる写真の総数から増数へ変更	

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 所蔵資料の修復や保存環境の整備を行う。また、寄贈資料の受入に対応する。
- (2) 所蔵資料展や講座、他館への貸出対応等で、資料の積極的な利用を促進する。
- (3) 来館者・電話等へのレファレンス、及び館蔵資料の貸出業務を行う。写真データベース公開数を550枚にする。館蔵資料の貸出方法、閲覧方法については、区と調整をすすめる。

2 実施上の課題

- (1) データベース以外の収蔵品リストの整理・統合。
- (2) 今後の資料受入に対応するための収蔵場所の確保。
- (3) 資料の継承を図るため、デジタル化、レプリカ作成を計画的に行う。

3 顧客満足度の向上方策

平成25年度からレファレンス及び所蔵資料の貸出業務の窓口担当者を定めたが、これまで以上にスムーズかつ効率的に業務が遂行できるよう、窓口担当者のスキルアップを図る。

4 実績

平成26年度

博物館の写真資料の活用(貸出実績148件646点)。/資料閲覧対応(12件133点)。/当館資料や新宿に関するレファレンス(平均12件×332=3,984件)。/資料の修復(資料の軸装、閲覧用図書修復、林芙美子資料のレプリカ作成)。/写真資料データベースと検索機能付き公開用写真資料デジタルアーカイブの運用(写真資料データベースに公開する写真の増数114点)。/財団ホームページ上で「データベース写真で見る新宿」の運営。/写真データベース登録総数9,214点。/寄贈・購入図書の検索システムへの入力(715点)。/休館日における収蔵庫整理(2回)。/資料落下防止ネットの設置(重要資料収蔵庫1、特別収蔵庫の一部)。

平成25年度

博物館の写真資料の活用(貸出実績170件852点)。/資料閲覧対応(9件171点)。/写真ネガのデータ化(919コマ)。/当館資料や新宿に関するレファレンス(平均12件×329日=3,948件)。/資料の修復(資料の軸装、閲覧用図書の修復、林芙美子資料のレプリカ作成)。/写真資料データベースと検索機能付き公開用写真資料デジタルアーカイブの運用。/財団ホームページ上で「データベース写真で見る新宿」の公開。写真データベース登録総数7,429点。/音声資料の文字情報化 20点。/「新宿区地域文化財セレクション」DVD作成。/「新宿区無形民俗文化財セレクション」DVD作成。/文化財の撮影(5か所)。

5 対前年度予算増減説明

収蔵庫内造作の終了による委託費の減

平成28年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-2	
事業名	展示会の開催			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.新宿の歴史・文化に理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関し展示会を行う。 2.区民等に新宿の歴史・文化に接する啓発を行うため、普段は展示していない博物館の所蔵資料を公開する。 3.多様な機関との連携構築による展示会を開催する。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	32,266	32,076	190	大科目	事業費
経常収益計	32,266	32,076	190	種別	補助事業
事業費	9,454	9,664	△ 210	事業開始	平成元年度
人件費	22,812	22,412	400	根拠 法令	博物館法、新宿区立新宿 歴史博物館条例
経常費用計	32,266	32,076	190		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ観覧者数	15,500 人	12,000 人	3,500 人		

事業の計画

1 実施内容(予定) ※タイトルは全て仮題

- (1) 特別展・協働企画展
 - ①「新宿の殿さま—信州高遠藩内藤家の歴史—」(秋季:観覧者目標4,000人)
新宿区・高遠町(現伊那市)友好都市提携30年、新宿区・伊那市友好都市提携10年記念展示
 - ②「新宿の高層ビル群ができるまで」(冬季:観覧者目標年度内1,500人・通期4,000人)
新宿区成立70年記念展示(新宿区成立1947年3月)
- (2) 所蔵資料展
 - ①写真展「戦後昭和の新宿風景」(春季:観覧者目標4,000人)
シリーズ昭和の新宿写真展の総集編
 - ②「しんじゅく歴史駅伝」(夏季:観覧者目標3,000人)
新宿を各地域毎に時系列で紹介、小中学生の自由研究にも対応
 - ③「絵双六の世界」(冬季:観覧者目標3,000人)
世相を映し、ヴィジュアル的にも面白い絵双六の見方、楽しみ方を紹介
- (3) 次年度以降の展示会準備
平成29年度以降に予定される新宿の様々なイベントや記念年に合わせた展示の企画、交渉、プロモーション

2 実施上の課題

- (1) 区民の共有財産である所蔵資料を活用した普及・啓発活動を進める。
- (2) 様々な周知協力先と連携を図ったプロモーションにより観覧者の増加を図る。
- (3) 関係自治体や団体と協働することで、継続的な相互協力関係を築き今後の活動に活かしていく。
- (4) 観覧者数を常に把握し、展示期間中も観覧者増加のための積極的な周知活動を行う。
- (5) 企画展示室の観覧者をリピーターにつなげるとともに、他事業への参加を働きかける。

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 関連講座やイベント、フリースペースでの関連展示等による総合的なプロデュースを図る。
- (2) 文字の大きさや導線の配慮等、ユニバーサルデザインに配慮した観覧環境を提供する。

4 実績

平成26年度

- (1) 特別展①「高須四兄弟」9月13日～11月24日 観覧者7,382人 ②「新宿に縄文人現る」3月8日～3月31日 観覧者2,053人(全会期～5月6日 観覧者5,516人)
- (2) 所蔵資料展①写真展「新宿・昭和40年代」4月1日～4月13日 観覧者1,340人(全会期は2月1日～4月13日) ②「高田敏子生誕100年 子どもへのまなざし」4月26日～6月15日 観覧者2,043人 ③「新宿区ができたころ」6月28日～8月31日 観覧者3,014人 ④写真展「新宿・昭和50-60年代」12月6日～2月22日 観覧者5,414人

5 対前年度予算増減説明

要警備日数の減、資料搬送費用の減による委託費の減

平成28年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-3
事業名	文化財等の保存・公開			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.保護保存、普及活用に寄与するため、「林氏墓地」の公開と維持管理を行う。また、高田馬場流鏑馬を主催する高田馬場流鏑馬保存会への支援・協力を行う。 2.歴史・文化資源の保護と活用を図るため、区内のミニ博物館の支援を行い、地域文化の核とする。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	120	150	△ 30	部	経常増減の部
区補助金	6,060	6,111	△ 51	大科目	事業費
経常収益計	6,180	6,261	△ 81	種別	補助事業
事業費	5,055	5,156	△ 101	事業開始	昭和54年度
人件費	1,125	1,105	20	根拠法令	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例
経常費用計	6,180	6,261	△ 81		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
参加者数※1	250 人	250 人	0 人	※1 林氏墓地の公開参加者数	
観覧者数※2	3,500 人	3,500 人	0 人	※2 高田馬場流鏑馬の観覧者数	
観覧者数※3	200 人	-	-	※3 民俗芸能の集いの観覧者数	

事業の計画

1 実施内容(予定)

- 国史跡「林氏墓地」(大正11年国史跡に指定、昭和50年より新宿区が管理): 林氏墓地の公開(3日間)、林氏墓地内樹木の剪定及び除草、林氏墓地内墓石現状調査の実施。講座・史跡めぐりの実施(1-4講座・講演会の開催、1-5歴史文化探訪)再掲。「江戸城外堀」: 講座・史跡めぐりの実施(1-4講座・講演会の開催、1-5歴史文化探訪)再掲
- 高田馬場流鏑馬(昭和63年新宿区無形民俗文化財に指定)
10月10日(月・祝)14時～、都立戸山公園箱根山地区 主催: 高田馬場流鏑馬保存会 後援: 新宿区、新宿区教育委員会、東京都教育委員会(いずれも予定) 協力: 穴八幡宮、新宿歴史博物館
- ミニ博物館: パンフレットの増刷(在庫僅少なものを)、看板等設備の修繕、伝統工芸関連講座等でのミニ博物館との連携、博物館ミュージアムにてミニ博物館商品の販売を行う。
- 地域で活動している団体との協働で、伝統芸能である「講談」等を実施し、普及の機会を提供する。体験形式による「投扇興」については隔年で実施する(次回平成29年度実施)。
- 新宿に関係する民俗芸能を紹介する「民俗芸能の集い」を開催(隔年実施;平成28年度開催年度) 戸塚囃子や萩原社中等の新宿で継承されている民俗芸能の継承を支援するため、定期的に発表の機会を作る。

2 実施上の課題

- 高田馬場流鏑馬では、毎年3,500人を超える観覧者が集まるため、安全性を重視した運営を保存会と共に行う。実行委員会の中での財団の役割について明確にしていく。
- ミニ博物館を身近な文化資源として一層の活用・周知を図る。

3 顧客満足度の向上方策

文化財や伝統芸能・民俗芸能に関連する情報を適切に発信するとともに、講座や体験イベント等で、親しんでもらえる環境を醸成する。

4 実績

参加者(観覧者)数 (単位:人)

	林氏墓地公開	高田馬場流鏑馬	民俗芸能の集い	合計参加人数
平成26年度	262	1,500(※)	218	1,980
平成25年度	254	3,500	-	3,754
平成24年度	248	3,700	-	3,948

※台風17号の接近による荒天の影響

5 対前年度予算増減説明

「民俗芸能の集い」実施年に伴う委託費の増
パンフレット・チラシの単価見直しによる印刷製本費の減
伝統芸能講座の隔年実施による諸謝金の減

平成28年度事業計画書

定款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-4
事業名	講座・講演会の開催			担当課	学芸課
				変更内容	-
目的	1.区民に対し、学ぶ楽しさを体験する機会を提供することで、歴史や文化財に興味を持ってもらい、親しみやすく身近な博物館へつなげる。2.受講者のニーズに合ったテーマを設定し、座学・実技等バランス良くバリエーションのある内容・形態で構成し、参加者満足度を高める。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,529	1,149	380	部	経常増減の部
区補助金	281	276	5	大科目	事業費
経常収益計	1,810	1,425	385	種別	自主事業
事業費	1,321	1,384	△ 63	事業開始	平成19年度
人件費	281	276	5	根拠 法令	博物館法、新宿区立 新宿歴史博物館条例
経常費用計	1,602	1,660	△ 58		
収支	208	△ 235	443		
自主財源充当額	0	235	△ 235		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	3,240 人	2,450 人	790 人	延べ定員3,600人 × 90%	

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 古文書講座 初級・中級 (各全5回 定員60人 各2,500円)
- (2) 歴史講座 2講座 (各全3回 定員90人 各1,500円)
- (3) 史跡関連講座 江戸城外堀関連 (全3回 定員90人 各1,500円)
- (4) 学芸員と学ぶ歴史講座 2講座 (各2回 定員90人 各500円)
- (5) 伝統の世界(伝統的技術・地域産業等の体験講座)
 - ①香道入門 (全2回 定員50人 2,000円)
 - ②手書き友禅 (定員30人 2,000円)
- (6) 所蔵資料展関連講座 (6回 定員90人 各500円)
- (7) 近代史講演会 (定員90人 500円)
- (8) 中高生からわかる世界一楽しい歴史 (定員90人 高校生以下無料・一般500円)
- (9) 夏休み子どもイベント (勾玉づくり 定員80人×2回、イラスト講座 定員30人、都電車庫見学 定員30人等)
- (10)絵手紙講座 (2回 定員20人 各500円)
- (11)漱石講座 (全3回 定員90人 全1,500円)
- (12)書誌学講座 (全2回 定員60人 全1,000円)
- (13)協働講座・講演会 (四谷・新宿文化ネット 定員90人(全2回)、東京堂 定員30人×2回、漱石関係 定員90人×1回、NHK(予定)等)

2 実施上の課題

受講者アンケートの結果を反映して、講座内容や受講方法を改善する。

3 顧客満足度の向上方策

- (1)展示会やイベント、周年記念等に合わせ、総合的なプロデュースの中での講座・講演会を企画する。
- (2)新しい講座内容を取り込む等、内容に幅を持たせた企画を行う。

4 実績

年度	講座数	定員	延べ参加者数
平成26年度	42講座	定員延べ3,750人	延べ4,708人
平成25年度	22講座	定員延べ2,430人	延べ2,749人
平成24年度	15講座	定員延べ1,910人	延べ1,841人

5 対前年度予算増減説明

講師謝礼の見直しによる減

平成28年度事業計画書

定款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-5	
事業名	歴史文化探訪			担当課	学芸課
				変更内容	-
目的	新宿の持つ歴史や文化財に加え、自然や地勢、地域の特性など有形、無形の地域の文化・観光資源を再発見し、新たな新宿の魅力を区内外へ向けて積極的に情報発信していく。あわせて外来者や外国人に向けても積極的に情報発信する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	216	216	0	部	経常増減の部
区補助金	200	196	4	大科目	事業費
経常収益計	416	412	4	種別	自主事業
事業費	83	82	1	事業開始	平成22年度
人件費	200	196	4	根拠 法令	博物館法、新宿区立 新宿歴史博物館条例
経常費用計	283	278	5		
収支	133	134	△1		
自主財源充当額	0	0	0		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
延べ参加者数	432 人	432 人	0 人	延べ定員540人×80%	

事業の計画

1 実施内容(予定)

各回ごとにテーマを定め、まち歩きを実施する。ガイドは博物館ボランティアが担当する。

- (1) 新宿区内地区別 6回 各回定員60名、うち1回は定員30名
- (2) 新宿区外(新宿区と隣接、関連する地区) 4回 各回定員60名、うち1回は定員30名
- (3) 史跡ボランティアによる企画、運営を支援・推進する。

2 実施上の課題

- (1) 平日の実施、テーマ性を持たせた企画等を新たに展開していく。
- (2) 所蔵資料展、企画展等に合わせた史跡めぐりや、新宿区外の関連史跡めぐりを実施する。
- (3) ボランティアの居住する地域をテーマにした地区別の運営を定着させる。
- (4) 参加者や運営側の一般道での安全確保や観覧先でのマナー・ルールの遵守等を徹底する。

3 顧客満足度の向上方策

参加者および従事ボランティアの声をもとに、新宿の歴史に関連する区外のコースも増やしていく。

4 実績

年度	回数	参加者数	平均	内容
平成26年度	10回	延べ620人	62.0人	①江戸の伝統を受け継ぐ銀座を歩く ②アトリエめぐり ③神宮外苑・スポーツの聖地を歩く ④帝都東京の近代建築と江戸城 ⑤伝説と信仰の地戸塚を歩く ⑥上野戦争の跡をめぐる ⑦高須四兄弟のふるさとを探る ⑧牛込の裏町と林氏墓地特別公開 ⑨漱石と神楽坂 ⑩江戸四宿・品川宿を歩く
平成25年度	6回	延べ315人	52.5人	①上野のお山-寛永界限を歩く- ②茗荷谷小石川散歩 ③落合の文化財 ④四谷-文化財からたどる歴史- ⑤新宿の川「カニ川」の流れをたどる ⑥宿場の名残りを歩こう-板橋宿-
平成24年度	6回	延べ496人	82.7人	①『江戸名所図会』を歩く-角筈・淀橋編 ②四谷寺町を歩く ③徳川将軍の菩提寺-芝増上寺 ④大名屋敷を歩く ⑤『鎌倉街道』を訪ねて ⑥宿場の名残りを歩こう-千住宿

※平成26年度に事業整理を行い、まち歩き関連事業を統合した。

5 対前年度予算増減説明

平成28年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-6	
事業名	学校等への教育活動支援			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	1.新宿区内在学・在住の児童・生徒が、新宿の歴史や文化に対する興味と親しみを深め郷土愛を育むため、学校単位での博物館利用を進める。 2.区内小中学校と連携・協力し、児童・生徒の地域・歴史学習への取り組みを推進することで、学校の教育活動を支援する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	2,312	2,279	33	大科目	事業費
経常収益計	2,312	2,279	33	種別	補助事業
事業費	412	413	△ 1	事業開始	平成18年度
人件費	1,900	1,866	34	根拠 法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例
経常費用計	2,312	2,279	33		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
連携学校数	50 校	42 校	8 校		

事業の計画

1 実施内容(予定)

- (1) 保育園、幼稚園、小中学校からの社会科見学、職場体験等の受け入れを行う。また、様々な学校との協働・連携をすすめる。
- (2) 新宿の歴史や博物館資料について、学校に対するレファレンス協力を周知する。
- (3) 学校授業へ貸出用博物館資料の貸出を行う。
- (4) 区立小学校の新3年生に「小学生向けリーフレット」を配布する。
- (5) 貸出用博物館資料と体験プログラムを充実させる。
- (6) 新宿の歴史・文化に関する新たな学校授業メニューの提案と、学芸員による出張授業を行う。
- (7) インターンシップ、学芸員実習の受入や授業協力等、大学への支援や相互連携を進める。
- (8) 博物館での子ども向けプログラムを実施する。
- (9) 夏休み期間の博物館事業紹介のリーフレットを作成、配布する。

2 実施上の課題

- (1) 保育園、幼稚園、小中学校の社会科見学利用促進、実施前年度の1～3月に区教育委員会等と調整を行う。
- (2) 小中学校への事業提案メニューやハンズオン等の周知を行い、学校教育の中で博物館資料の活用を充実させる。

3 顧客満足度の向上方策

- (1) 学校等の教育機関が利用しやすい体制づくりを行うとともに、直接学校等に博物館の活用方法を案内する。
- (2) 歴史文化教育の支援の視点から、区内の私立学校、幼稚園、保育園への働きかけも行う。

4 実績

平成26年度

- (1) 年度初めに「新宿歴史博物館活用の手引き」を区立小中学校39校に配布。
- (2) 社会科見学・職場体験・職場訪問等の受入 合計:延べ38校
 - ①社会科見学:幼稚園延べ1園、小学校延べ29校、中学校延べ3校
 - ②中学校職場体験・職場訪問:延べ5校
- (3) 学校授業への貸出用資料の貸出及び出張授業の対応:合計延べ12校
 - ①小学校延べ11校 ②中学校延べ1校
- (4) 博物館実習生の受け入れ 大学6校
- (5) インターンシップの受け入れ 大学1校
- (6) 大学ゼミ研究発表会への協力 大学1校

5 対前年度予算増減説明

実績精査による通信運搬費の増、及び消耗品費の減。

平成28年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-7	
事業名	夏目漱石関連記念事業			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	現在計画されている(仮称)「漱石山房」記念館のプレイベントとして、新宿区とゆかりが深い夏目漱石の関連事業を実施する。				
区 分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	0	0	0	大科目	事業費
経常収益計	0	0	0	種別	自主事業
事業費	938	1,277	△ 339	事業開始	平成26年度
人件費	0	0	0	根拠法令	博物館法
経常費用計	938	1,277	△ 339		
収 支	△ 938	△ 1,277	339		
自主財源充当額	938	1,277	△ 339		
成果指標	目 標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
漱石関連の図書の購入を計画的に行い、閲覧室で公開する。					

事業の計画

<p>1 実施内容(予定)</p> <p>(1)関連講演会の開催(1-4講座・講演会の開催)再掲 3回 定員60人 1,500円</p> <p>(2)関連史跡めぐりの実施(1-5歴史文化探訪)再掲 1回 定員30人 500円</p> <p>(3)夏目漱石関連図書の購入 現在発行されている夏目漱石関連の図書を購入し、閲覧室の「漱石文庫」で公開する。</p> <p>(4)夏目漱石関連施設の視察および漱石関係施設・自治体・関係者との関係強化</p> <p>(5)夏目漱石関連マップの作成 博物館ボランティアと協働で夏目漱石に関連したマップを作成する。</p> <p>(6)展示会の開催(1-2展示会の開催)再掲 (仮称)「漱石山房記念館」開館時に実施予定の「(仮称)漱石と子規展」展示準備</p> <p>2 実施上の課題 平成29年9月に開館する予定の(仮称)「漱石山房」記念館の動向を踏まえつつ事業を実施する。</p> <p>3 顧客満足度の向上方策</p> <p>(1)閲覧室の「漱石文庫」での公開図書を充実させ、一層の利用促進を図る。</p> <p>(2)夏目漱石関連マップを作成し、利用者の漱石に対する愛着を深め、記念館開館への気運醸成を図る。</p> <p>4 実績 平成26年度</p> <p>(1)閲覧室に「漱石文庫」の開設</p> <p>(2)漱石関連図書の購入</p> <p>5 対前年度予算増減説明 イラスト作成、イベント終了による委託費の減</p>

平成28年度事業計画書

定 款	1 地域の歴史の記録保存及び普及啓発		事業・枝事業番号	1-8	
事業名	博物館ボランティアの活動支援			担 当 課	学芸課
				変更内容	-
目 的	博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。				
区分	予算額(千円)	前年度予算額(千円)	比較増減(千円)	会計	公益目的事業会計
事業収益	120	120	0	部	経常増減の部
区補助金	5,087	5,322	△ 235	大科目	事業費
経常収益計	5,207	5,442	△ 235	種別	補助事業
事業費	1,707	2,005	△ 298	事業開始	平成15年度
人件費	3,500	3,437	63	根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例
経常費用計	5,207	5,442	△ 235		
収 支	0	0	0		
-	-	-	-		
成果指標	目 標	前年度目標	比較増減	成果指標の説明	
ボランティア活動回数	2,100 回	2,000 回	100 回		

事業の計画

1 実施内容(予定)

(1) ボランティアの活動

- ① 展示ガイド…常設展、特別展、協働企画展、所蔵資料展の展示案内
- ② 史跡ガイド…歴史文化探訪、史跡関連事業等
- ③ 林芙美子記念館ガイド…林芙美子記念館の案内、内部公開、文学関連事業等
- ④ アトリエ記念館ガイド…佐伯祐三・中村彝アトリエ記念館の案内、美術関連事業等
- ⑤ 事業サポート…講座補助、閲覧室補助、メンバーズ通信発行、チラシ発送、ガーデニングクラブ等

(2) ボランティアの活動運営 ボランティア全体会 年2回

- (3) レベルアップ講座、部会別研修、視察研修の実施
- (4) ボランティア養成講座の実施(隔年実施:次回平成29年度開催予定)
- (5) 漱石関連のスキルアップ講座の実施、漱石マップの協働作成

2 実施上の課題

- (1) ボランティア全体のガイド技術やマナー等の向上を図る。
- (2) 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の提供を進める。
- (3) 自主勉強会や自主的活動を支援する。
- (4) 史跡ガイドボランティアによる選定コース策定を行う。
- (5) ボランティアに対する職員のコーディネート力を向上させる。

3 顧客満足度の向上方策

ボランティア活動に関するアンケートを実施し、今後の活動に必要と思われる研修を考え、実施する。また、ボランティアの接遇等の研修も実施していく。

4 実績

平成26年度

	登録人数	延べ活動回数	活動内容
展示ガイド	56人	623回	館内ガイド、団体ガイド、社会科見学等
史跡ガイド	43人	145回	歴史文化探訪、史跡関連事業等
林芙美子記念館ガイド	40人	457回	館内ガイド、内部公開、文学関連事業等
アトリエ記念館ガイド	42人	297回	佐伯祐三アトリエ記念館、中村彝アトリエ記念館館内ガイド等
事業サポート	59人	400回	イベントの補助、事務作業等

5 対前年度予算増減説明

ボランティア養成講座隔年実施による諸謝金の減。